

青山幸生の「日々感謝」

発行責任者:滑川市上梅沢396-1 滑川市議会議員 青山幸生 TEL475-9376



ご挨拶

薰風の候。皆様におかれましては、新しい生活様式の中で一日一日をお過ごしことだと思います。市民全員へ早急にワクチンが行き渡り、一日も早く終息するよう祈るばかりです。

3月23に閉会致しました、令和3年3月定例会では、富山地方鉄道中滑川駅前の整備事業費10億4412万円を含む135億7,981万円の予算を可決致しました。その中でも中滑川駅前エリア整備事業については、平成31年1月の整備基本構想を基に、産業厚生建設委員会で侃々諤々の議論をしてきました。今後は掲げているコンセプトどおり新たな賑わいの空間の創出、緑豊かな安らぎの空間、防災を含めた安全・安心な駅前環境の整備がしっかり施設に反映されているかを精査し提言してまいります。引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ致します。

学校環境の向上について

ライフスタイルの多様性や情報技術の進化によって様々な価値観で日々の生活を過ごされていることと思います。その中で子どもを取り巻く環境も、少しずつ変化しています。

しかしコロナ禍であっても、例えオンライン授業になったとしても、子ども達の生活の基盤は家庭と学校です。そこでPTAと教育委員会との関係性の見解を、今一度問いただしました。

〈私の質問〉 教育委員会はPTA活動についてどのような位置づけをしているか、お願い致します。

〈広田学務課長〉 PTAは、「子どもたち全が幸せな日々を送れるよう、保護者と先生が協力して家庭教育・学校教育・地域教育を推進し、子ども達の健全育成と教育の進展を図ることを目的とした団体です」と富山県PTA連合会には示しております。

教育委員会としては、学校教育を協力して推進し、社会教育の面でも児童・生徒の様々な活動に携わっていただくことで、子ども達の健やかな育成を支える大切な役割を担う組織であると考えています。会員の皆様の献身的なご尽力に感謝しているところであります。

〈私の質問〉 文部省の学校教材の整備では「学校で使われる標本や跳び箱などの教材は、子ども達の教育効果を高め、児童生徒の基礎的・基本的な学習理解を助ける上で極めて重要であり、その充実は不可欠です」と記載されております。国は令和2年から10年で単年度予算で800億円の地方交付税を執行すると言っております。学校で使用する教材に関してはPTA予算の持ち出しはないですね。

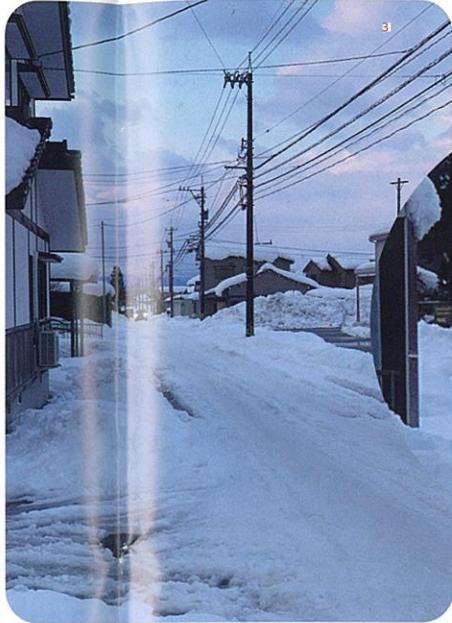
〈広田学務課長の答弁〉学校の教材に関しては、教育委員会で対応を図っております。PTA会費を教材等に充てることは不適切と考えております。

私の経験上、学校側から何度もPTA会計で教材や備品購入のお願いを受けました。その都度、PTA執行部会では購入の採決を行いましたが、学校側から教育委員会に要望することで、歴代の保護者の方々が貯めた会費から支出せずに済みます。また市の予算や補助ができない備品は適切にPTA会費を使い購入できると考えます。

次ページに
続きます

学校環境の向上について

今年の豪雪は35年ぶりに100センチを超える大雪になり渋滞や食品購入等市民生活に大きな影響を与えました。しかし、その大雪の1月13日の小中学校の登校は滑川市、朝日町のみとなりました。私はその判断に疑問を感じています。右の写真は同日朝の集団登校時です。ただでさえ幅員の細い道路を子ども達は車を避けて歩いています。車も轍でまともに走れず非常に危険な状況でした。



拡大写真

〈私の質問〉 1月13日水曜日の豪雪時の登校判断について、どのような経緯で決定したか。また子どもの安全より優先しなくてはいけなかったものは何だったのか。

〈広田学務課長の答弁〉 議員の仰る通り、大雪の中で安全を確保して通学するということは大切であります。そのために各学校から情報を収集しまして、通学困難箇所について、通学路の地図にポイントを示して、そしてそれを随時集めまして建設課に送って対応をお願いしていました。

教育委員会も学校が行われる前日に困難箇所を把握しておりますので、どういった進捗状況か教育委員会でパトロールしまして、できる範囲で対応をしてまいりました。今後もまた改善していきたいと思います。

〈私の質問〉 なぜこういった内容で他の市町村とわざわざ差別化しなくてはならないのかと思います。昔は今より雪が降ったという意見もありますが、車の保有台数は1980年からは2倍、1965年からは7倍以上増えています。今の方が危険だと認識しています。今回は迷わず休校という選択でも良かったのではないかでしょうか。

〈上田市長の答弁〉 賛成する人、その反対意見、両方あります。放課後児童クラブで預かった子ども、親の意見は分かれます。親も仕事があります。子どもは学校へ行く、勉強する、それを基本にしています。そして雪に慣れる。ドライバーも子どもを見て注意して渡る。それが社会だと考えます。

〈私の質問〉 豪雪時に通りかかって、普段以上に感じたのは、滑川中学校のグラウンド側駐車場の砂利が水たまりで凄いことになっていた事です。駐車場をアスファルト舗装にできないでしょうか。お願いします。

〈広田学務課長の答弁〉 予算が限られています。優先順位をつけ、子ども達の安全に関わるものは最優先に対応し、そのほかについては計画的に執行しておりますので、駐車場の要望があるということを各課とも確認致しまして承ってまいりたいと思います。

私の考え方

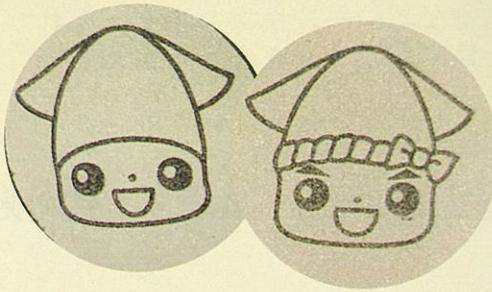


海側駐車場

滑川中学校の海側駐車場は平成6年の旧体育館解体工事に伴い整備しています。約27年間未舗装状態です。近年、でも南部小学校、西部小学校の隣地の田んぼを駐車場に新設しています。もちろん綺麗なアスファルト舗装です。

滑川中学校の送り迎えや行事・式典では、この海側駐車場の利用率は高いと考えます。今後も粘り強く要望していきたと考えます。

通学路の安全について



日頃の皆様の交通安全に対する意識向上のおかげで、昨年10月には滑川署管内にて交通死亡事故が450日間発生しなかったとの朗報もありました。

滑川署と交通安全協会などでは市のイメージアップキャラクター「キラリン」とピッカをあしらった反射材シールを約千枚作製しました。ランドセルや普段の習い事バッグなどに活用していただければと思います。

〈私の質問〉 学校関係者、道路管理者及び滑川警察署との、市内道路等の合同点検の進捗及び改善状況をお願い致します。

〈広田学務課長〉 平成27年度に国の実践的安全教育総合支援事業で、田中小学校区における通学路合同点検を実施して以降、点検内容及び対策メニューを市ホームページで公表しています。危険箇所については、横断歩道のカラー舗装や地下道における防犯カメラの設置などの具体的な対策が実現されるなど、通学時における安全性が向上していると認識しています。

〈私の質問〉 各地区から様々な交通安全の要望書が出ていると思います。平成31年度は道路改良費が大幅に予算づけされて、改善されたものと思っています。各要望を出していた団体等の反応、公表も含めて反応はいかがでしょうか。

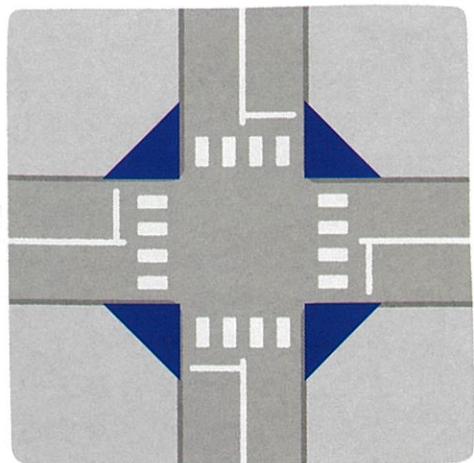
〈広田学務課長〉 この合同点検を実施しての改善点についての具体的な反応は直接聞いてはおりませんが、市民間パトロール隊協議会などにおいて、パトロールの現状等を話をする機会がありますので、そういう折にも、合同点検の成果、課題等を聴取したいと考えます。

〈私の質問〉 市道有金上島線の歩道整備について、上島、上梅沢、デイズイン上梅沢、有金町内会への説明状況は。

〈北島建設課主幹〉 市道有金上島線の歩道整備については、地元要望を受け、平成31年度に事業を着手し、現況測量を行い、道路の基本設計を作成し、各町内会に計画を説明してきたところあります。説明会は各町内会で実施し、町内会長の協議の上、地権者のみに対して個別に説明をしました。また説明会に参加できなかった方々には戸別訪問で事業内容を説明し、概ね了解が得られたところです。しかしながら道路整備に際し家屋の移転が必要になる方や、機能の回復が困難と思われる方はご意見をいただいていますので、今後、事業の必要性を十分に説明し、早期に解決が図られるよう、交渉を進めてまいりたいと考えます。

私の考え

子ども達の通学路については何より安全が最優先です。しかしながら歩道をつける場合、当然ながら道路幅員の拡張が伴います。今回の整備でも9m～9.5mの幅員を確保する為、地権者にはご理解を頂いているところです。ところが一番の問題は、沿線の十字路です。国の予算を受けて整備する為、青色の箇所も拡張しなければならず、度々沿線上のお宅の駐車場にかかります。地方は車社会です。住宅に駐車場がなくなるのは、大変な問題となります。建設課には代替案も含めて、お互い良い環境となるよう再度、お願い致しました。



拡張部分

公共施設はどのように管理しているか

滑川市の所有する公共施設は118施設と数多くありますが、施設の長寿命化、また建替えについて滑川市個別施設計画を策定し、管理および運営をしていくこととなります。各それぞれの施設をA、B、Cで機能評価し、Cが5個以上になれば廃止・統合・譲渡などに向け検討します。それ以外の評価では簡易劣化診断の健全度75未満で部分的に劣化を必要に応じて適宜修繕を実施し、滑川市の施設をより長く利用できるよう努めています。

〈私の質問〉 管理計画は計画期間を令和12年とし、概算対策費用は3,429万円と見込んでいます。どのように見積りしましたか。

〈奥村財政課主幹の答弁〉 個別施設計画の策定に当たりまして、市が有する118の施設について、180の建物ごとに、屋根、外壁、内部仕上げ、電気設備、機械設備の5つの部位に分けまして、簡易劣化診断を行ったところあります。診断の結果、C評価以下となった部位については、その建物ごとに参考見積りを徴収したり、同様の修繕を行った他の施設の修繕費なども参考に概算費用の積み上げを行ったところであります。

〈私の質問〉 将来人口は、令和元年度、児童数1,631名ですので、簡易計算しますとが2万2,881人となります。市の人口は今より1万人減少することになります。人口統計は大幅に変わることはありませんので、いずれ必ず公共施設は縮小せざる得ないと思っています。

しかしこれからの為に、近隣の市より公共施設の再編を遅らせて、より便利な状態にしておくことが重要です。市民サービスの低下を緩やかにすることによって、滑川市は子育てにも力を入れているし、雇用も生む企業もある。休みには公園があり、集まる公共施設も多い。すなわち住みやすさにつながると考えます。特に、ランニングコストがあまりかかるない施設はできるだけ残そうという持論を持っていますが、市の考え方はどうか。そこで人口動態と市の公共施設の在り方についての見解を伺います。

〈奥村財政課主幹の答弁〉 国におきましては、人口減少と過去に建設されました公共施設が更新時期を迎えることなどを背景に、新しく造ることから賢く使うこと念頭に、各地方公共団体に対しまして、公共施設等総合管理計画、それから本計画に基づきます個別施設計画の策定を要請したところでございます。人口減少を見据えながらも、現在有する施設に適時適切な修繕を実施しできる限り長い期間利用し、ライフサイクルコストを抑えていくことが必要であると考えます。

私の考え方

公共施設マネジメント特別委員会では、修繕が必要な箇所の写真を頂きました。そこで私が感じたのは劣化の共通点です。塗装工事で修繕できる箇所が多く見られました。早月加積分団の車庫階段、早月加積地区公民館の階段と屋根、寺家小学校の屋根、西部小学校の特別教室棟の階段等です。民間企業は会社内で軽微な修繕を行っています。危険な場所の作業ではないところは、自前で修繕して公共施設を長期的に利用できるものにすべきと考えます。市役所内に公共施設の維持班設立を強く要望しました。



地域経済に活力を

今やお財布にお金はいらない時代となり、クレジットカード、電子マネー、PayPayなど多くの決済方法がでてきています。中小企業が導入に乗り遅れて、レジの前のお客様にこれで払えないの?と言われないようにしなければいけない時代になってきました。実は私は今のところ現金派ですが、少しずつ時代の流れに乗っていこうかと思っています。

〈私の質問〉 今年度予算に計上している、キャッシュレス決済促進事業費はどのように周知し事業者にどのように普及していきますか。

〈長崎商工水産課長の答弁〉 本事業においては、公募型のプロポーザルにより、活用する決済サービスを含め、より効果的な提案があった専門的かつ経験豊富な事業者に業務を委託することとしています。

その委託事業者と協議し、事業の周知に係る効果的な広報活動を行うとともに、相談窓口やコールセンターの設置、利用者及び店舗等、事業者への説明会の開催なども検討しており、キャッシュレス決済の促進に努めたいと思います。

〈私の質問〉 中小企業の事業者の店舗も利用できるようにする事業で間違いないでしょうか。

〈長崎商工水産課長の答弁〉 議員の仰られるとおり、そういった小さな事業者さんにも今回活用していただけるように進めていきたいと考えています。

〈私の質問〉 射水市の件で還元の問題がありましたが、滑川市は。

〈長崎商工水産課長の答弁〉 事業としましては、射水市と同じようにポイントの還元事業になります。売上額に対して20%相当をポイント還元する予定にしています。

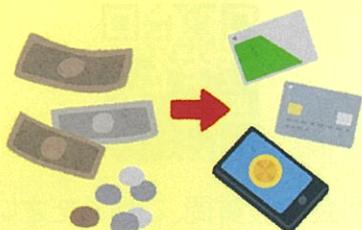
〈私の質問〉 技術的なことはわからないが、混乱はしないですか。

〈長崎商工水産課長の答弁〉 ポイントの還元率や、1回当たりの上限額等を自ら市町村で定めることとしています。できるだけ混乱のないように設計したいと考えています。

〈私の質問〉 いろいろな決済サービスがあると思いますが、全体を網羅するものを用意するという認識でよろしいですか。

〈長崎商工水産課長の答弁〉 決済サービスについては様々あるかと思います。ただ市の方で実施する際には、何か一つの決済サービス、より効果的でより有効な決済サービスを選択することになります。

私の考え方



先進的なサービスを取り入れることで、滑川市内でのお買い物や食事などが便利になり、購入頻度の向上に寄与するものだと考えます。ただ思わぬ欠点もあります。それは事業者負担である決済手数料です。中小小売店に人気なりクルートのAirペイでも3.24%から3.74%の事業者負担が伴います。売価が3%以上下がるということですので、粗利率の低い業種は厳しい判断になりそうです。新しい時代に対応した値決めも改めて必要な時代になるのではないでしょう。

産業が元気なまちづくり

業種にもよりますが、新型コロナウイルス感染症の影響が多方面で出ています。今年度の当初予算を見ても、市民税は個人、法人ともに減少を見込んでいます。個人市民税の均等割りの人数は800人分の減少見込み、所得割は1億569万円の大幅減。法人市民税は昨年度3億円が今年度2億円の歳入予定。一昨年の平常時は5億円の歳入見込みでありましたので、2年間であつという間に3億円の歳入が消えてしまったことになります。

〈私の質問〉 每年予算化している滑川商工会議所への補助金110万円を投入して、商工業の振興と地域経済の安定を目的として、育成、指導、相談業務をしています。相談窓口としての状況及び効果はどうですか。

〈長崎商工水産課長の答弁〉 滑川商工会議所では、新型コロナウイルス感染症の影響による事業所からの相談が例年に比べて増加している状況あります。主な内容は、売上減少、融資に係る相談や、新型コロナウイルス感染症関係の国や県、市などの各種補助金の申請に関する相談についてです。

また、相談窓口を常設して随时、経営改善の相談を実施するとともに、コロナ禍に対応するための様々なセミナーを開催するなど、中小企業、小規模事業者への経営支援活動を積極的に行われており、事業者の売上の回復や事業継続に効果的なものになっていると考えています。

〈私の質問〉 工業団地造成事業特別会計に27万円の計上がされています。概要は新たな工業団地の造成について調査研究とあります。安田工業団地は企業が決まったが、次の予定は。お願いします。

〈長崎商工水産課長の答弁〉 平成30年度から販売を開始しました第4期安田工業団地は、全4区画です。こちらについては、令和元年度3区画、令和2年度に1区画を売却し、現在、企業において工場等の建設に向けて準備が進められているところです。

新たな工業団地につきましては、現在、具体的な計画はありませんが、企業等の要望を的確に捉え、候補地の検討を行ってまいりたいと考えています。

上田市長もすでにある企業の拡張についても用地を支援したいとの立場の答弁をいただきました。感染症の歴史はおおよそ2年で終息しています。新型コロナウイルス感染症も、もう少しで1年半が経過します。ピンチこそチャンスと捉え次世代に投資していきたいと思います。

(編集後記)

日頃より皆様方からの厚いご支援ありがとうございます。

先日、関西電力初代社長である太田垣士郎の伝記を読みました。彼は黒四ダムの指揮を執った方で有名ですが、私が感銘を受けたのは、当時不治の病で知られる結核で、二十歳の長男と二十三歳の娘を亡くし、そこから奮起した物語でした。私も息子と娘がいますが、もし同じ境遇になつたらと思うと太田垣さんみたいに頑張れるか自信がありません。しかし彼はその後、黒四ダムでの難工事が続き、また多くの犠牲者を出しながら、毎年需要が倍増する電力需要と国の復興に応えるために完成させた人生は、尊敬するとともに誰もができない事だと思います。

現在の脅威は間違いなく新型コロナウイルス感染症です。結核のように多くの犠牲者を出さず、早く終息することを願うばかりです。



滑川市議会議員 青山幸生

3月定例会一般質問、ご覧ください。

議会報告 令和3年 第14号